

1. Report No. UMTRI-2014-30		2. Government Accession No.		3. Recipient's Catalog No.	
4. Title and Subtitle 中国、インド、日本、米国、イギリスおよびオーストラリアにおける、自動運転車両についての世論調査				5. Report Date October 2014	
				6. Performing Organization Code 383818	
7. Author(s) Brandon Schoettle and Michael Sivak				8. Performing Organization Report No. UMTRI-2014-30	
9. Performing Organization Name and Address The University of Michigan Transportation Research Institute 2901 Baxter Road Ann Arbor, Michigan 48109-2150 U.S.A.				10. Work Unit no. (TRAIS)	
				11. Contract or Grant No.	
12. Sponsoring Agency Name and Address The University of Michigan Sustainable Worldwide Transportation http://www.umich.edu/~umtristwt				13. Type of Report and Period Covered	
				14. Sponsoring Agency Code	
15. Supplementary Notes					
16. Abstract <p>本報告では、中国、インド、日本における自動運転車両に対する世論調査の新しい研究について記述する。この調査では、中国 610 人、インド 527 人、日本 585 人 から有効な回答を得た。比較のため、最近報告された米国、イギリスおよびオーストラリアでの同様の調査結果を含む。</p> <p>主要な結果（各 6 カ国に適用できる）を以下に示す。：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回答者の大半は、以前に自律運転や自動運転車両について聞いたことがあり、技術については肯定的な（または日本においては中間的な）意見を持っており、技術の利益について高い期待がある。 ・しかしながら、回答者の大半は自動運転車両に乗ることについて、機器やシステムの故障による安全性の問題や、人が運転するのと同様な振る舞いをしないことについて高い心配を示した。 ・回答者は、無人で走行している自動運転車両、バスやタクシーなど商業車両の自動運転についても高い心配を示した。 ・回答者の大半は、自身の車両にこの技術を有することを望んだ。しかしながら、（中国とインドを除く）回答者の大半はこの技術に対して追加の出費を望んでいない。 <p>米国、イギリスおよびオーストラリアの回答者に比べて、中国、インドの回答者は、自動運転車両について、より肯定的な初期意見を持ち、彼ら個人の車両にそのような技術を持つことに、より大きな関心を表している。そして、その技術に対する費用を支払う意思がより多い。一方、日本の回答者は一般的に自動運転車両に対して中間的な初期意見を持ち、その技術に対する費用を支払う意思が一番少ない。</p> <p>この 6 カ国での調査結果が主に意味することは、この技術を備えた車両に乗ることに高い心配を示す一方で、大部分は自動運転車両を肯定的に感じており、利益について楽観的な期待を持っている。そして、一般的に自動運転車両の技術を望んでいる。（しかしながら、調査した 6 カ国のうち 4 カ国の大多数が、現時点ではこの技術に出費する気はない。）</p>					
17. Key Words 自律車両、自動運転車両、無人車両、調査、中国、インド、日本、米国、イギリス、オーストラリア、世論調査				18. Distribution Statement Unlimited	
19. Security Classification (of this report) None		20. Security Classification (of this page) None		21. No. of Pages 33	
22. Price					